

労働安全衛生規則に基づく、定期健康診断 8,580円

実施日 月・水・木曜日(午後12:45～) (他は不定期)
 12:30～受付でのお呼び出しを開始します。雇入時健診の場合は、お知らせください。

内科診察/身長・体重・腹囲/視力/聴力/血圧
 胸部X線/心電図
 尿検査(糖・蛋白)
 血液検査

貧血(血色素量・赤血球数) 肝機能(AST・ALT・γ-GT)
 脂質(LDLコレステロール・HDLコレステロール・中性脂肪) 糖代謝(空腹時血糖又は、随時血糖・ヘモグロビンA1c)

生活習慣病予防健診 受付開始時間(定期健康診断は午後12:45～)

7:30(10名)	7:45(15名)	8:00(15名)	8:15(15名)	8:30(10名)
8:45(10名)	9:00(10名)	9:15(8名)	9:30(8名)	9:45(3名)

※乳がん・子宮がん検査受診の方は、8:00以降となります。

交通のご案内



バスをご利用の場合

富山駅前発 水橋経由滑川行き、水橋東部団地行き、針原行き
 運転教育センター経由済生会病院行き
 「東荒川」下車 徒歩約10分

お車をご利用の場合

国道41号線 荒川交差点より 300m
 草島線 荒川南交差点より 200m



健診のお申し込み・お問い合わせ



公益社団法人富山市医師会 富山市医師会健康管理センター

〒930-0951 富山市経堂4丁目1番36号(富山市民プール様向)

TEL (076)422-4811 FAX (076)422-4816

E-mail kenshin@po5.nsk.ne.jp ホームページ <http://www.tcma-kenkou.com/>

2024年度(令和6年4～3月)協会けんぽ 生活習慣病予防健診 のご案内

『全国健康保険協会管掌健康保険』
を、お持ちの被保険者

すべて消費税を含みます(税込み)



公益社団法人 富山市医師会
富山市医師会健康管理センター

すべて消費税を含みます（税込み）

令和6年度

協会けんぽ生活習慣病予防健診のご案内

生活習慣病予防健診はセット料金となっております。お客様の都合で、**検査を省くことは原則できません**。レントゲン検査（胸部・胃部）、大腸がん検査等も必須であり、健診後に業務を行えない等の理由で未実施とすることはできません。

種類	対象	負担額	内容
一般健診	35～74歳	5,282円 胃内視鏡へ変更は +4,400円	【診察等】問診、視診、聴診など 【身体計測】身長、体重、腹囲、視力、聴力 【血圧測定】血圧、循環器系の状態 【尿検査】腎臓、尿路の状態や糖尿病など（蛋白、潜血、糖） 【血液検査】動脈硬化・肝機能などの状態や、糖尿病・痛風など（ヘマトクリット値、色素量、赤血球数、白血球数、空腹時血糖又は随時血糖、AST、ALT、AL-P、γ-GT、尿酸、クレアチニン（eGFR）、総コレステロール、中性脂肪、HDL-コレステロール、LDL-コレステロール） 【心電図検査】不整脈や狭心症などの心臓に関わる病気 【胸部レントゲン】肺や気管支の状態 【胃部レントゲン】食道や胃・十二指腸の状態 【便潜血反応検査】大腸からの出血
	医師が必要と判断した対象者	追加79円	【眼底検査】健診結果（血糖及び血圧の項目）等により、医師が眼底検査を必要と判断した場合79円の負担で受診可能になります。

ご案内

【大腸がん検診（便検査）について】

やむを得ず便検査をキャンセルされる場合、**キャンセル手数料**をご負担いただきますが**総額**からは**減額**となります。
※必要な検査ですので、未提出とならないようお願いいたします。

1本キャンセルの場合	5,282円 → 5,265円（-17円）
2本キャンセルの場合	5,282円 → 5,248円（-34円）

富山市医師会サービス

食事

眼底検査（5歳毎の節目年齢のみ）・**尿検査**（ウロビリノーゲン、PH、比重、ケトン体、ビリルビン）
血液（血小板数、MCV、MCH、MCHC、LDH、総蛋白、アルブミン、A/G比、HbA1c、RF（節目年齢のみ）
骨密度検査（女性で、5歳毎の節目年齢のみ）・**体脂肪率**

一般健診に追加して受診する健診（※下記検査は、事前にお申込みください。）

種類	対象年齢	負担額	内容
肝炎ウイルス検査	一般健診を受診する 過去にC型肝炎ウイルス検査を受けたことがない方。	582円	【HCV抗体検査】 【HBs抗原検査】
付加健診	一般健診を受診する 40・45・50・55 60・65・70歳	2,689円 補助なし(9,090円)	【腹部超音波検査】・【肺機能検査】 【尿沈渣顕微鏡検査】・【眼底検査】 【血液学的検査】（血小板数、末梢血液像） 【生化学的検査】（総蛋白、アルブミン、総ビリルビン、アミラーゼ、LDH）

対象年齢の方は、「生活習慣病予防健診」に上記検査を追加して受診する**大変お得な健診**です。
ぜひ、この機会に**受診をお勧めいたします**。
（一般健診に追加することで人間ドック並みにグレードアップさせることができます。）

子宮がん検診

部分が補助対象後の負担額となります。

偶数年齢	（単独受診可） 20歳代・30歳代	970円	【問診】 【細胞診】子宮頸部の細胞を採取して調べます。 ●生理中・妊娠中・妊娠している可能性がある方は受診できません。 ●婦人科医が専用の器具で細胞を採取して検査します。
	（一般健診を受診する） 40歳以上	970円	
奇数年齢	全年齢	4,180円	

乳がん検診（マンモグラフィー）

部分が補助対象後の負担額となります。

（一般健診を受診する） 偶数年齢	40歳代	2方向撮影	1,574円
	50歳以上	2方向撮影	2,663円
奇数年齢		全年齢	1方向撮影
	2方向撮影		5,830円
		1方向撮影	4,180円

乳がん検診（乳房エコー）

※下記の案内を参考にして受診ください。

4,180円

当センターのご案内	
40歳以上	第一選択にマンモグラフィ（ご希望により乳エコーを合わせて実施できます。）
30歳代	第一選択に乳エコー（検査の違いをご承知の上で、マンモグラフィへの変更も可能です。）
20歳代	乳がん検診は推奨しません（検査リスク説明をご承知の上で、第一選択に乳エコーを実施できます。）

※月1回のセルフチェックを推奨し、異常を感じたら医療機関（乳腺外科）へご相談ください。

次の方はマンモグラフィ検査を受けることが出来ません。

※妊娠中・妊娠している可能性がある・授乳中・断乳後6カ月以内・乳腺疾患で治療中・豊胸手術を受けた・ペースメーカーを挿入している



マンモグラフィ検査と乳エコー（超音波検査）の違いは？



マンモグラフィは、乳房をX線撮影します。石灰化という乳房の中のごく小さな石のようなものを鮮明に写し出すことができ、この石灰化が早期乳がんの唯一のサインとして、乳がんの発見に大役立ちます。前回の撮影との比較が客観的にできるため、検診に適しているといわれています。

乳エコーは、痛みや放射線被ばくがありません。機械を直接乳房にあてて、断面像を画面に写し出し、この画像を見ながら検査を行います。乳腺密度の高い若年の方に適しています。

	メリット	デメリット
マンモグラフィ	●検査の精度が高い ●触診では発見できない小さながんを見つけられる	●乳腺密度の高い人（高濃度乳房）はがんを見つけにくい ●被ばくがある
乳エコー	●被ばくがない ●乳腺密度が高い人（高濃度乳房）でも腫瘍を発見できる	●がん特有の微細石灰化が見つけにくい ●放置してもよい病変を発見する頻度が高い